

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスハート		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ～ 令和7年 11月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ～ 令和7年 11月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月大きなイベント(外出/お昼ごはん・おやつ作り)を1回実施している。保護者様から好評を頂いています。	○お昼ごはん・おやつ作りにおいては、児童参加型で行っている。例えば、「砂糖等の分量を計る」「食材を包丁で切ったり、混ぜたりする」などの工程をやらせてもらっています。 ○外出は、児童が喜びそうな場所を話し合って、毎回決めています。	○児童自らが意見を出して、みんなで企画をしてみる。(外出イベントであれば、行ってみたい所/お昼ごはん・おやつ作りであれば、食べたい物、食べてみたい物をそれぞれ職員が聞いてみる) ○イベント実施後に必ず振り返りをみんなで行之、反省すべきところを見直して、次に活かしていくようにしていきます。
2	訓練室内が、割と広い空間になっているので、児童の利用人数が多くなっても、それぞれに快適に過ごすことができています。	○自由時間では、児童がそれぞれに活動する場所を決めて過ごしている。また児童同士で過ごす場所での揉め事は起きていない。 ○痙攣を起こしたり、1人だけになりたいといった児童がいた際には、テントを用意するが、用意するスペースがあります。	○見た目で楽しそうな雰囲気を作り出すような装飾を行っています。 ○児童が遊ぶ玩具や知育ドリル等の充実を図っていき、より児童が楽しく過ごせるようにしていきます。
3	職員間の分け合いあいとした雰囲気が児童にも伝わり、みんなが元気いっぱい明るい児童が多くなります。	○児童と関わりは大切にしていますので、児童が何でも職員に話しやすい傾向にあります。 ○職員間での児童に関する情報共有をその都度実施しております。	今後も職員間で、様々な声掛けを行っていき、児童が安心して安全に過ごしていけるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との交流がなく、閉鎖的な面がある。	○活動にあまり幅がなく、固定化されてしまう。 ○他事業所が、どんな活動を行っているのか、何が子どもたちにとって楽しめているのか、何も分からない。	学校にお迎えに来ている事業所の職員の方々と事業所での過ごし方や活動内容等について、情報共有を行い、いい部分は取り入れていくようにしていきます。
2	事業所内の利用者さんの保護者さん同士の交流が少ない。	児童の中で、仲の良い友達関係を築くことができて、保護者同士が交流がないとその輪が広がらない。	保護者会や参観日、交流イベントを開催していきます。
3	1カ月に1度の大きなイベントの実施する曜日が、固定化されている。	学校がある場合の平日では、イベントを実施するのは難しいが、土曜日が日曜日に実施することが多くなってしまい、どうしても参加できる児童のメンバーがほぼ同じになってしまう場合があります。	イベントを実施する曜日は、土日のどちらかにしないと難しいが、平日しか利用しない児童にも参加してもらいたいのので、こちらで全体に参加希望の連絡を行い、希望を募っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスハート

公表日 令和8年 1月 15日

利用児童数 年月日 42名配布 回収数 29名回収

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3		2	限られた中で工夫をされていると思っています。	児童が過ごしやすい環境を提供できるように努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	1	4		利用前の契約時に体制等の説明を行っており、人員の変更があった際には適宜お伝えしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1		5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1		4		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26		2	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	4	1	3	○イベントが減った。 ○知育への取り組みが少ないイメージがある。	○大きなイベントは月1回実施している。その他のミニイベントにつきまちは、過ごす時間の範囲の中で、できる限り検討をしていきます。 ○学校で知育に関する宿題等があった際には対応は行っております。要望があれば今後検討して参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24		2	3		お子様・保護者様のニーズに合わせて、必要な支援を実施して、支援計画の立案に役立てるように努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	3	1	4	自発的な発達支援の取り組みが少ないと思います。	今後は療育施設として、より良い支援ができるように、お子様への必要な支援内容について具体的に設定をするように努めていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1	1	4		職員間の打ち合わせと振り返りを行い、より充実した支援を行なえるように努めていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	4	2	5	○イベントや外遊びなどの活動があるのが良いです。 ○「運動遊び」が多いように思います。	個人で体を動かすことを中心としたプログラムを組んできましたが、児童の要望にも合わせて、集団でできるプログラム等を採り入れていこうと考えております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	10	12	求めているので、特に必要ないです。	もし、要望がありましたら検討していきます。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	3				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	3	1	3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	8	10	求めているので、特に必要ないです。	要望がありましたら都度対応しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	3	1	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	5	3	必要な時に面談等の機会を作って頂いているので、問題ないです。	個別支援計画書の更新の際に面談を実施しておりますが、それ以外の要望があれば都度対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	1	4	子どもに寄り添ってサポートしてもらっていることが伝わっています。	今後も子どもたちの成長や出来たことを皆で喜び、共有していこうと考えております。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	10	9		現在は、実施しておりませんが、ご要望がありましたら、検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4		6		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	2		1	ホームページや毎月の新聞が定期的に更新、発行されていていいと思います。	今後とも、児童の活動や様子が見やすく分かりやすいように新聞を発行していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		1	配信されている新聞や動画で、モザイクをかけるなどの配慮していただいている。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		10	○よく分からない	・各種マニュアルに関して、相談室等に掲示して、いつでも閲覧ができるように環境を整えていきます。また面談時にも説明・周知・再確認ができるように努めていきます。 ・非常災害発生の備えに関して、定期的に地震や火災・水害を想定した避難訓練を実施しています。実施内容について、周知ができてなかったので、今後は送迎での引継ぎ等でお伝えできるように努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	5		12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	3		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3		5	○事故がないので分からない	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1		1		今後子どもたちが安心して通所できるように努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2		2	特にお出かけイベントの時に楽しみにしている。	今後子どもたちが楽しく通所できる施設運営を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	4			○調理イベントを増やしてほしい ○日曜日だけスポット利用でも暖かく迎えてもらって、助かっている。	今後とも支援内容に満足してもらえるように努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスハート		公表日		令和8年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		完全なバリアフリー化はしていないが、利用時に不便にならないように配慮は行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃は欠かさず実施し、汚れも気づいたらその都度きれいになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別対応ができるように整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月1回のスタッフ会議で振り返りの機会を設けている。職員間で共有し改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年必ず保護者アンケートを実施し、改善していくように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回のスタッフ会議を実施して、意見交換や情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在第三者評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に社内研修を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントやモニタリングを行ったうえで、計画を作成している。職員間での情報共有をし、目標や課題の設定見直しを行っている。計画書作成後には職員への周知を実施し、共通認識したうえで支援を行っている。ガイドラインに沿って、本人・家族・移行・地域支援の観点を踏まえながら具体的な内容を設定している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ会議で翌月のプログラムを話し合いながら設定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		継続的に行うプログラムはいくつかあるが、月課題制作で内容は毎回変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と小集団活動を組み合わせて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を日々記載して、保護者へ確認をもらっている。記録をもとに課題設定を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年以内ごとに1回見直しを行い、変化等があった際の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせ、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校などの担任の先生等と引き渡しの時に、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		会社組織内に児童発達支援事業所があり、職員間等で情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		必要に応じて連携を図っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		頻度は少ないが必要に応じて行っている。	スーパーバイス等の機会は少なく、今後機会を設けさらなる連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	保護者より求めている意見もあるため、慎重に協議し検討していく必要がある。	現状で、実施する予定はないが、要望があれば検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		頻度は少ないが必要に応じて行っている。	機会が少ないため、今後機会を設けさらなる連携を図っていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		帰りの送迎時に保護者にその日の様子や支援内容について伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		地域の講習など対象者への案内は行っている。	要望があれば、さらに検討をしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前の契約の際に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		父母会・保護者会は実施していないが、学校内での保護者同士の交流はある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情対応の体制は整備しているが、より周知できる方法を考えていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページを活用して、月1回の新聞と動画を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在は行っていないが、機会があれば検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定しており、訓練も定期的に実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練の実施を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前にアレルギーの有無について確認し、職員間での共有は行っている。	医師の指示書は扱っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練同様に研修、訓練の実施を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明を行い、また配布もしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際には、速やかに記録し、全職員へ周知を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修やチェックリストを用いて、実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画書に記載するとともに同意を得る。また実施する際には記録を残し、保護者へ説明を行っている。	